





スクールのブランドイメージを
守りながら、
“開放感”をコンセプトに

英語を通じて子供たちの興味や好奇心を刺激する学童保育施設です。壁には、教室ごとに異なる色のクロスを使用し、歩道から見ても、教室の明るく楽しい様子が伝わるようにプランニングしました[1]。棚や靴箱などの造作家具をトータルで制作しており、狭い空間でありながら無駄のない間取りに[3]。子供の利用する施設であるため、段差の注意喚起など、安全性を高める工夫を凝らしています[2]。空間デザインのほか、内装・設備工事も手掛けしました。



1



2



3

物件名：Kids Duo 堀江店
 依頼主：協栄薬品株式会社 様
 所在地：大阪府大阪市
 完成：2017年2月
 担当者：大阪本店 大阪ファシリティ営業所
 谷輝和
 〈企画・プランニング〉
 松尾浩史／川合梨香子

※担当者の所属については2017年3月31日時点のものです。一部、部署・役職等を省略しています。

 造作家具
 サイン